

平成25年 4月10日

平成22年12月10日

## USB スキャナの公開について

学習教育センター長

学習教育センターでは、学習支援サービス(Moodle)を用いたレポート回収などを支援するために、USB スキャナを設置しました。利用状況（適切な利用が行われない）によっては、サービスを中止し USB スキャナを撤去します。なお、USB スキャナの管理・運営には、情報工学部・情報基盤室、情報科学センターの協力により実現しています。

### 1. USB スキャナとは

紙ベースのスキャンデータを USB フラッシュメモリ（以下「USB メモリ」）に直接取り込むことができます。学習教育センターが想定している利用形態は次の通りです。

- 手書きによるレポートを学習支援サービス(Moodle)に投稿するための利用（**自らが著作権を持つものをスキャンする**）
- グループなどで実験を行い、測定した手書きデータをグループのメンバーに配布するための利用（**グループが著作権を持つものをスキャンする**）
- 自ら著作権を持つものを電子化する（例えば、**古い自分のノートを電子化して保存する**）
- その他、法律や学内規則に違反しない利用

なお、次のような利用は違法行為となりますので注意してください。また、利用に際して、適切な利用かどうか不明な場合は、電子メール(ict@lrc.本学ドメイン)にて事前にお尋ねください。

- 図書館の資料をスキャンする（図書館利用規則、著作権法に違反）
- 他人の著作物をスキャンする（他人のレポート、本、ノート）
- 教育研究活動に直接関係のない行為

### 2. 利用に関する情報と注意事項

#### (ア) 使用できる USB メモリ

- ① FAT 形式または FAT32 形式の USB メモリが使用できます
- ② セキュリティ機能や書き込み禁止機能付きの USB メモリの場合、各機能を解除します

#### (イ) 設置場所等

- ① 飯塚キャンパス：情報科学センター3F 端末演習室、研究棟 1F リカレント講義室
- ② 戸畑キャンパス：学習支援プラザ 1F オープン端末室

(ウ) 使用上の注意（著作権など）

- ① 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、写真、コンピュータープログラムなどの著作物は、権利者の承諾なく、複製・改変・送信はできません
- ② 紙幣、郵便切手、印紙などの通貨や株券、宝くじなどの有価証券を複製することは犯罪として厳しく処罰されます
- ③ 証明書類や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは犯罪として厳しく処罰されます

3. 機器の操作方法（使い方）

(ア) 原稿のセット

① 【原稿をガラスにセットする場合】

1. 原稿カバーを開ける(図 1 左)
2. スキャンする面を下に向け、原稿ガラス左奥の角に合わせ原稿をセットすし(図 1 右)、原稿カバーを閉じる
3. 注意：本はスキャンできる構造になっていないので利用しないでください

② 【自動原稿送り装置にセットする場合】

1. (a) スキャンする面（両面の場合はおもて面）を上に向けて、原稿送り装置にセットする(図 2 左)。原稿が正しくセットされると、原稿検知ランプが点灯する
2. 原稿ガイドを移動して、原稿の端に軽く押し当てる(図 2 右)



図 1:ガラスにセットする場合

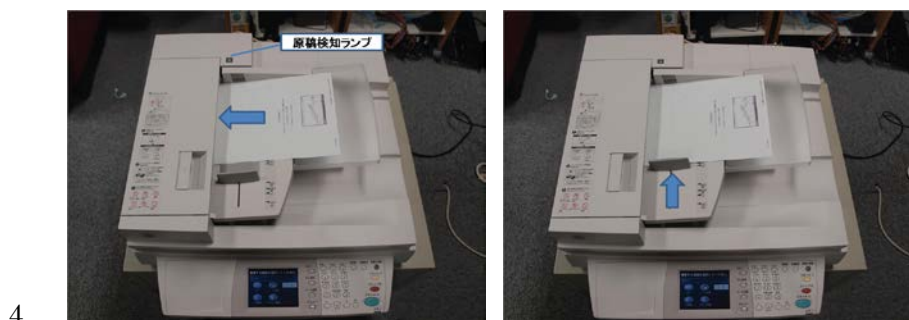


図 2：自動原稿送り装置にセットする場合

(イ) USB メモリのセット

- ① USB メモリをスキャナの USB コネクタに挿入する(図 3 左)。付属の USB ケーブルは、USB コネクタを保護するために必要です。取り外し、持ち出しは禁止 (USB スキャナに付けたまま使用します)
- ② メディア保存画面の表示
- ③ 操作パネルの<メニュー>ボタンを押す(図 3 右)
- ④ タッチパネルディスプレイに[メニュー] 画面が表示されるので、[メディア保存] を押す(図 4 左)
- ⑤ 「保存先」画面が表示される(図 4 右)。初期状態では、保存先はルートディレクトリになります



図 3: USB コネクタ (左)、メニューボタン (右)

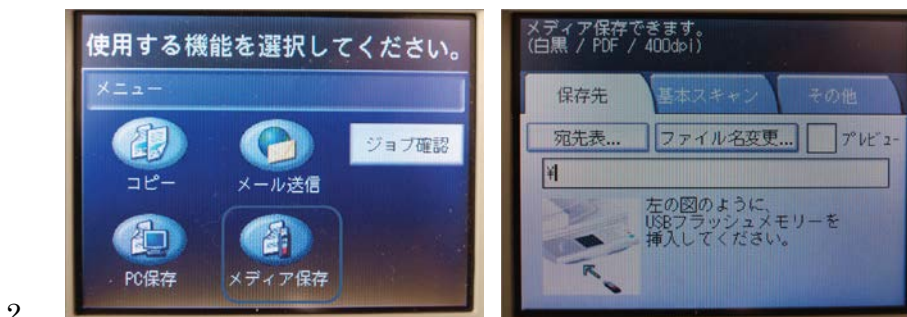
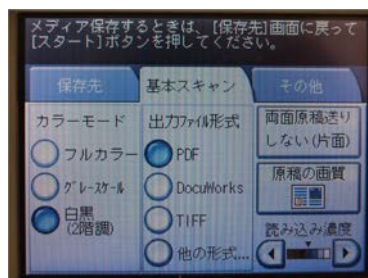


図 4: メニュー画面 (左)、保存先画面 (右)

(ウ) カラーモード、画質の選択

- ① 必要に応じて、[基本スキャン] 画面、[その他] 画面で、カラーモードや画質などのスキャン条件を設定します



(エ) スキャンを開始する

- ① 「保存先」画面を表示して、<スタート>ボタンを押す(図 5 左)
- ② スキャンが開始され、USB メモリにデータが保存されます(図 5 右)

(オ) USB メモリを取り外す

- ① 次の画面が表示されていることを確認する(図 6 左)
- ② USB コネクタから USB メモリを取り外す(図 6 右)
- ③ **注意：データ保存中と画面に表示されている間は USB メモリを絶対にはずさないでください。データおよび USB メモリが破損する可能性があります**

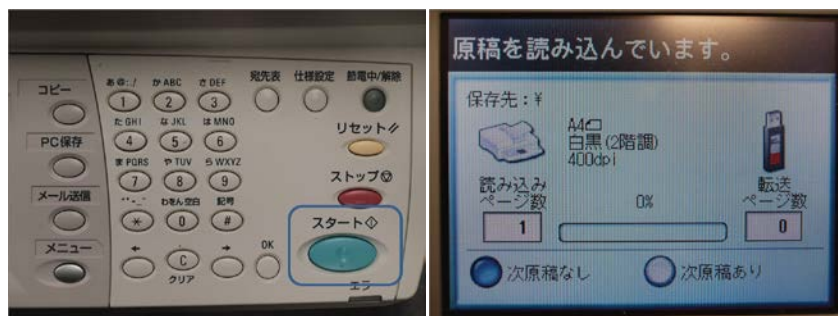


図 5: スキャン開始 (左: スタートボタン)、データ保存 (右)

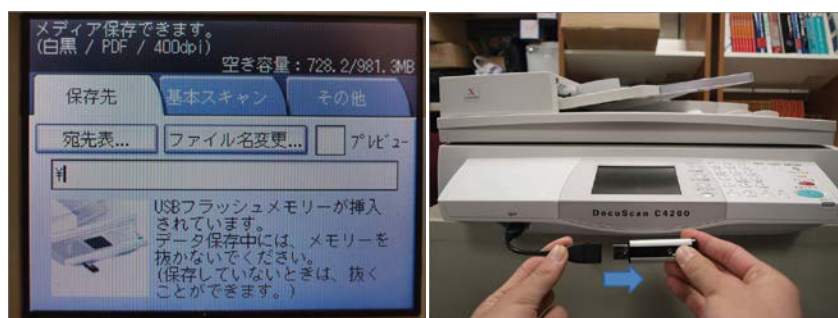


図 6: メディア保存完了画面 (左)、USB メモリの取り外し (右)

#### 4. その他

(ア) USB スキャナの故障に気がついた場合や不正利用を目撃した場合は、[ict@ltc.本学ドメインまで](mailto:ict@ltc.本学ドメインまで)お知らせください

(イ) 教員の方へ

講義資料をコピー機で複写して配る目的で、本スキャナを使用して講義資料を電子的に配布する場合は、著作権法に触れていないか今一度ご確認ください。なお、ご自身が著作物の権利を持つ場合はその限りではありませんが、出版権などの他の権利を侵害することもあります。